

## 2 研究の実際

### (3) 本研究における評価の進め方

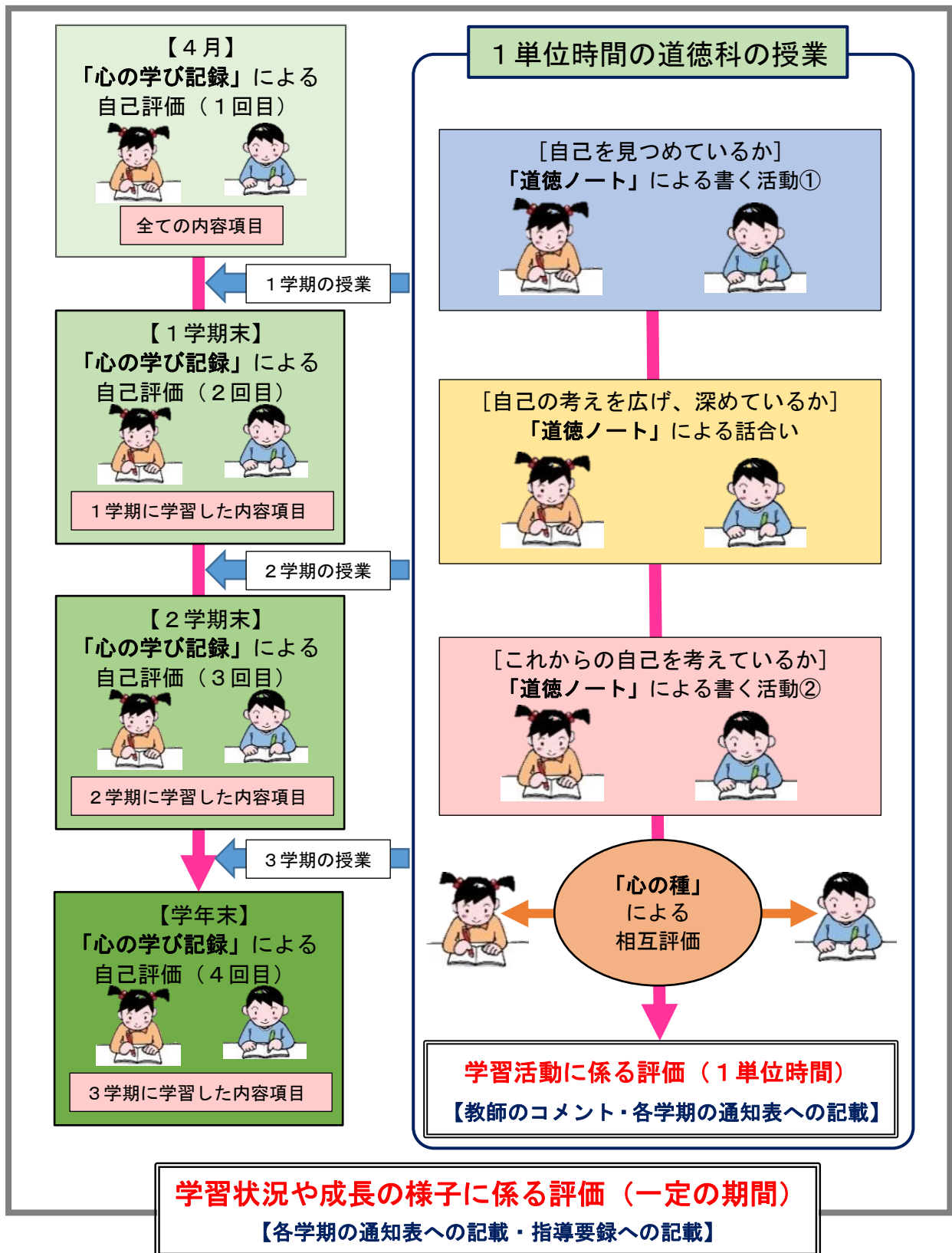


図 1 評価の進め方の構想図

表 1 本研究で取り入れた手立て

手立て	ア 心の学び記録	イ 道徳ノート	ウ 心の種
自己評価 相互評価	自己評価	自己評価	相互評価
ねらい	児童生徒が道徳的価値についての自己の意識を把握し、一定の期間を経た自己の変容を実感することができるようにする。	児童生徒が授業における道徳的価値についての自己の学びを蓄積し、その学びを振り返ることができるようにする。	児童生徒が道徳的価値についての互いの考えのよさを伝え合うことで、自他の学びを振り返ることができるようにする。
実施時期	4月及び各学期末	道徳科の授業（通年）	道徳科の授業（通年）
方法 ・ 手順	①全ての内容項目について自己評価とその理由を記述させ、道徳ノートに綴じ込ませておく（4月）。 ②その学期で扱った内容項目について自己評価とその理由を記述させる（各学期末）。	①授業で学んだ道徳的価値について、自己の考えを記述させる。 ②授業で用いた教材やワークシート、板書記録等を貼付させる。	①「心に残った（ ）さんの言葉」について記述させる。 ②記述内容を伝え合い、カードを交換させる。 ③教室に掲示した後、道徳ノートに貼付させる。
様式 ・ データ	B4用紙 *本研究のサイトマップからダウンロードできます（Word形式）。心の学び記録入力シート（Excel形式）もダウンロードできます。	A4版の大学ノート （B5版でも可）	名刺大サイズ （A4用紙で8枚程度） *本研究のサイトマップからダウンロードできます（PDF形式）。

道徳科の評価は、授業をする教師が主体となり、児童生徒の一人一人の学習状況を踏まえて行うものです。小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成29年6月）、中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編（平成29年7月）は、評価の基本的態度として、児童生徒が「自らの成長を実感し、更に意欲的に取り組もうとするきっかけとなるような評価を目指すことが求められる」<sup>(1)</sup>と示しています。また、道徳科における学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握するに当たっては、「学習活動を通じて多面的・多角的な見方へと発展させていることや、道徳的価値の理解を自分との関わりで深めていることを見取るための様々な工夫が必要である」<sup>(2)</sup>としています。その具体的な工夫の例として、児童生徒が行う自己評価と相互評価について、「これら自体は児童（生徒）の学習活動であり、教師が行う評価活動ではないが、児童（生徒）が自身のよい点や可能性に気付くことを通じ、主体的に学ぶ意欲を高めるなど、学習の在り方を改善していくことに役立つものであり、これらを効果的に活用し学習活動を深めていくことも重要である」<sup>(3)</sup>と示しています。つまり、教師は、児童生徒自身の自己評価を把握し、その自己評価を解釈することで道徳科の評価につなげていく必要があります。

そこで、本研究では、児童生徒の自己評価を取り入れた「心の学び記録（道徳的価値に係る自己評価シート）」及び「道徳ノート」、相互評価を取り入れた「心の種（道徳的価値に係る相互評価カード）」を活用し、児童生徒が自らの学びを振り返ることで、ねらいとする道徳的価値を主体的に把握させるようにしました（1 頁図 1、前頁表 1）。年間を通した道徳科の授業において、自己評価を繰り返すことで、児童生徒のメタ認知の発達につながると考えました。また、自己評価に加え、学習活動について友達との相互評価を繰り返すことで、新たな気づきが生まれたり、自分の考えに意味付けや価値付けがなされたりすると考えました。つまり、相互評価による学習活動の振り返りが、自他の学びを振り返ることにつながり、児童生徒の道徳的価値を捉える視点が多くなっていくと考えます。

このような自己評価と相互評価を取り入れた手立てを継続して活用することにより、児童生徒は、道徳性に係る自己の成長を感じ、道徳的实践への意欲と態度を育んでいくことができます。以下、「心の学び記録」「道徳ノート」「心の種」を活用した評価について、詳しく説明します。


ア 「心の学び記録」を活用した評価

(7) 「心の学び記録（道徳的価値に係る自己評価シート）」（Word 形式）

「心の学び記録」は、佐賀県教育センター『平成 27・28 年度「プロジェクト研究」小・中学校道徳教育』において作成した「道徳アンケート」<sup>(4)</sup>の名称及び文言の一部を変更した自己評価シートです。4 月の道徳の授業開き等で全ての質問項目について記入させることで、それぞれの内容項目に対する個人及び学級全体の意識やそれぞれの児童生徒のこれまでの体験や経験を把握することができます。小・中学校の内容項目を踏まえた質問項目について、今の自分自身がどの程度できているかについて自己評価をさせます。また、具体的な体験や経験が思い浮かぶものについては理由まで記述させます。さらに、各学期末に、その学期で扱った内容項目に関わる部分を記述させることで、4 月からの児童生徒の変容を見取ることができ、通知表や指導要録等の評価にも生かすことができると考えます。

本研究では、「心の学び記録」を 3 回（年度当初、9 月、11 月）実施し、一定の期間を経た児童生徒の変容を見取るようにしました。実際、各学校で活用される場合は、年度当初及び各学期末に実施することを提案しています。様式については、本研究のサイトマップからダウンロードすることができます。それぞれの段階（低学年用、中学年用、高学年用、中学校用）の内容項目に応じた様式を用いて、学校の実態に応じて質問項目の文言等を変更して活用することもできます。なお、低学年用は、児童の発達の段階を考慮し、1 回目は◎、○、△のみの記入としています。

「心の学び記録」は、「道徳ノート」にとじ込んでおき、年間を通して 1 枚の用紙に記述させていただきます。このことにより、児童生徒は一定の期間を経た自己の変容を捉えることができ、道徳的実践意欲を高めることにつながると考えます。各学期末で「心の学び記録」を記述する際には、それまでにどのような授業を受けてどのようなことを考えていたのか振り返ることができます。教師にとっては、全ての内容項目を網羅して指導しているかを確かめるための資料にもなると考えます（資料 1、次頁資料 2）。



### 心の学び記録

(中学校)

( ) 年 ( ) 組 ( ) 番

名前 ( )

日頃の学校や家庭生活を振り返って、次の 1～22 までの質問に、◎○△で教えてください。  
 よくできているものには ◎  
 だいたいできているものには ○  
 あまりできていないものには △  
 また、理由については、具体的な経験や体験、普段から意識していることを書いてください。

A 自分自身に関すること		1 回目	2 回目
番号	質問項目	◎○△	理由
例	勉強や運動、仕事など自分でやろうと決めた目標に向かってねばり強く、くじけずに努力している。	○	看護師になるために、毎日決めた時間勉強している。 体力をつけるため、週 3 日は家の周りを走っている。
1	正しいこととまちがっていることを自分で考えて判断し、責任をもって行動している。		
2	健康や安全に気を付け、物やお金を大事にし、規則正しく生活している。		
3	自分の悪いところは直そうとし、よいところは伸ばそうとしている。		
4	勉強や運動、仕事など自分でやろうと決めた目標に向かってねばり強く、くじけずに努力している。		
5	人として行うべき正しいことを大切に、生活をよりよくするためのアイデアを考えている。		

**4月の道徳の授業開き等で全ての項目について記入させておく。**

**学期末にその学期で実施した内容項目について記入させ、4月からの変容を見取る。**

資料 1 「心の学び記録」の一部

「心の学び記録」を「道徳ノート」に貼付させておくと、児童生徒にとって、自己の変容を捉え、自己評価する手立てとして用いることができます。  
また、学期ごとの道徳科の授業を教師が振り返るときの参考にすることもできます。



学年末に3学期の授業で扱った内容項目の質問項目について、2回目の欄に記入させます。教師にとっては全ての内容項目を年間で網羅して指導しているかどうかを確認するための資料となります。

項目	1学期	2学期	3学期
1	...	...	...
2	...	...	...
3	...	...	...
4	...	...	...
5	...	...	...
6	...	...	...
7	...	...	...
8	...	...	...
9	...	...	...
10	...	...	...
11	...	...	...
12	...	...	...
13	...	...	...
14	...	...	...
15	...	...	...
16	...	...	...
17	...	...	...
18	...	...	...
19	...	...	...
20	...	...	...

4月の道徳の授業開き等で全ての質問項目について記入させておきます。

学年末 (4回目)

1学期末 (2回目)

1学期末に1学期の授業で扱った内容項目の質問項目について、2回目の欄に記入させます。

2学期末に2学期の授業で扱った内容項目の質問項目について、2回目の欄に記入させます。

2学期末 (3回目)

項目	1学期	2学期	3学期
1	...	...	...
2	...	...	...
3	...	...	...
4	...	...	...
5	...	...	...
6	...	...	...
7	...	...	...
8	...	...	...
9	...	...	...
10	...	...	...
11	...	...	...
12	...	...	...
13	...	...	...
14	...	...	...
15	...	...	...
16	...	...	...
17	...	...	...
18	...	...	...
19	...	...	...
20	...	...	...

\* 同一の内容項目を複数回扱う場合（2回より多く記述させたい場合）、次の①②の方法があります。  
①付箋に記述させ、シートに貼付させておく。 ②赤ペンなどでシートに加筆させる。  
\* 授業で扱っていない内容項目の質問項目についても、気が付があれば記述することもできます。

資料2 年間を通した「心の学び記録」の活用例

(イ) 「心の学び記録入力シート」(Excel 形式)

「心の学び記録」を評価に生かすために、「心の学び記録入力シート」(Excel 形式)を作成しました。このシートを活用することで、①年度当初に学級全体の自己評価の傾向を知り、年間指導計画作成に役立てること、②個々の児童生徒の変容や成長を見取ることができます。

なお、本シートは児童生徒の自己評価(◎、○、△)を便宜上、数値化して、学級全体の傾向を知ることや個人の変容や成長を把握することに生かすものです。本シートを活用する際には、①個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえた評価とすること、②他の児童生徒との比較による評価ではなく、児童生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として、数値ではなく記述式で行うこと、の2点に留意しておく必要があります。

この入力シートは、大きく2つの構成に分かれています。1つは、「心の学び記録」を実施した回ごとに全ての内容項目を一目で把握できるシート(資料3)、もう1つは、それぞれの内容項目について時系列に把握することができる内容項目別シート(資料4)です。内容項目別シートには、「心の学び記録」の理由の記述を転記しておいたり、授業記録をメモしておいたりするなど、その活用を工夫することで、より一層、道徳科における評価に生かすことができると考えます。データは、それぞれの段階(低学年用、中学年用、高学年用、中学校用)の内容項目に応じた様式を、本研究のサイトマップからダウンロードすることができます。具体的な活用方法については、「3 授業実践と評価の実際(2)『心の学び記録』を活用した見取り」を参照してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD					
	心の学び記録 1回目 (年度初め)		自主、自律、 自由と責任	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	思いやり、 思いやり	合計				
25																														0	0	0	0	0	
26																															0	0	0	0	0
27																															0	0	0	0	0
28																															0	0	0	0	0
29																															0	0	0	0	0
30																															0	0	0	0	0
31																															0	0	0	0	0
32																															0	0	0	0	0
33																															0	0	0	0	0
34																															0	0	0	0	0
35																															0	0	0	0	0
36																															0	0	0	0	0
37																															0	0	0	0	0
38																															0	0	0	0	0
39																															0	0	0	0	0
40																															0	0	0	0	0
41																															0	0	0	0	0
42																															0	0	0	0	0
43																															0	0	0	0	0
44																															0	0	0	0	0
45		合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
46		◎(3)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
47		○(2)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
48		△(1)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
49		無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

資料3 「心の学び記録入力シート」1回目入力用の一部

	A	B	C	E	F	H	I	K	L	N	O
	内容項目A-1 自主、自律、自由と責任		心の学び記録①		心の学び記録②		心の学び記録③		心の学び記録④		授業記録
1	番号	氏名	◎○△	理由	◎○△	理由	◎○△	理由	◎○△	理由	
2											
3	1	0									
4	2	0									
5	3	0									
6	4	0									
7	5	0									
8	6	0									
9	7	0									

資料4 「心の学び記録入力シート」内容項目A-1用の一部

イ 「道徳ノート」を活用した評価

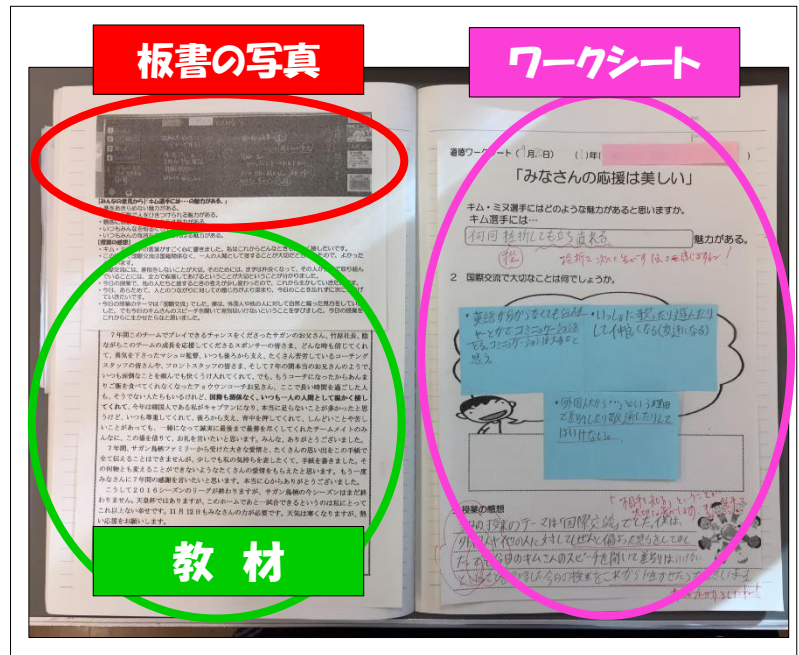
「道徳ノート」(A4版の大学ノート)を準備して、児童生徒が、「心の学び記録」やワークシートを貼付し、整理できるようにします。このノートには、授業で用いた教材、板書の写真、「心の種」等も一緒にまとめておくようにします(資料5、6、7)。

児童生徒にとっては、このノートを見て過去の授業内容や自己の考えを振り返ることができると思います。教師にとっては、過去の授業内容や児童生徒の考えを振り返ったり、記述式の評価を行う際の参考にしたりすることができます。

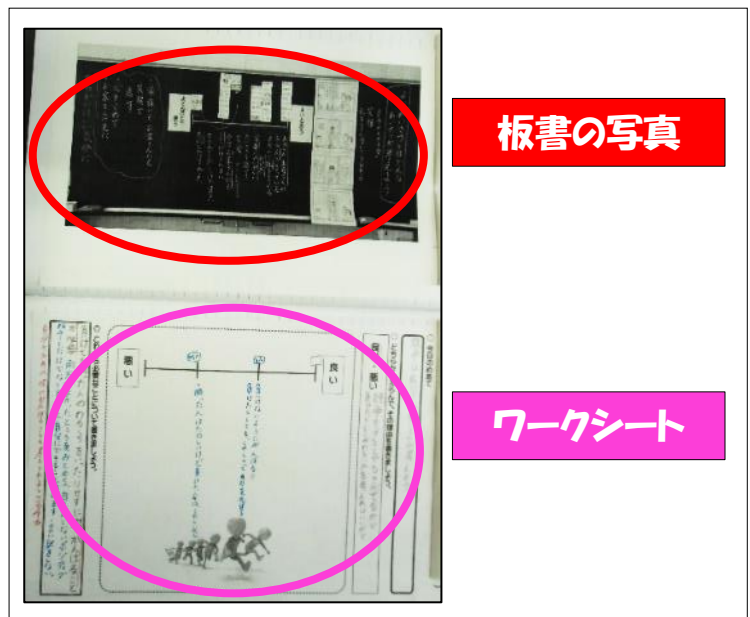
また、家庭に持ち帰らせて保護者にも見てもらうことで、道徳科授業への理解や家庭教育との連携を深め、実生活における道徳的実践につながる可以考虑です。

「道徳ノート」を見返すことには、次のような利点があります。

- ①児童生徒にとっては、自らの成長を確認し、学習を振り返ることができます。
- ②教師にとっては、児童生徒の道徳科における学習の様子や成長を把握することができます。



資料5 「道徳ノート」(横見開き)例



資料6 「道徳ノート」(縦見開き)例

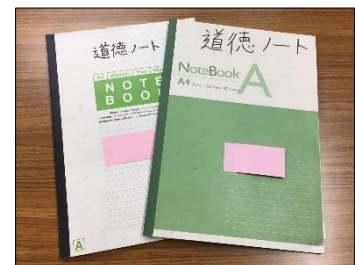
授業中



授業後に回収



授業後や学期末にノートチェック

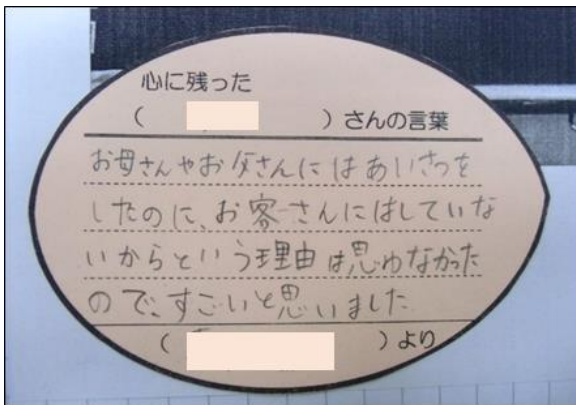


資料7 「道徳ノート」活用例

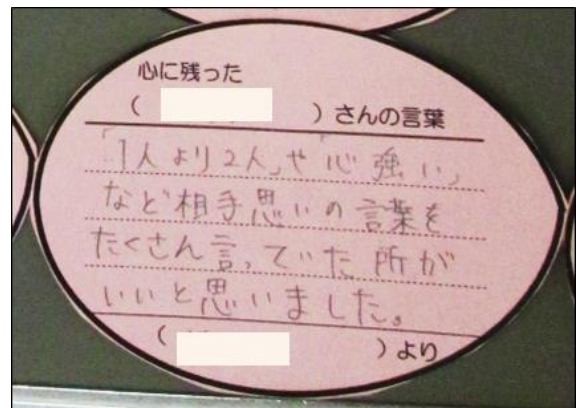
## ウ 「心の種」を活用した評価

「心の種」は、授業において児童生徒同士でメッセージの交換を行うことができるように作成した道徳的価値に係る相互評価カードです。「心の種」による相互評価の取組は、道徳科における学びを道徳的实践につなげるための手立ての1つと考えます。

「心の種」は、授業の終末で用いることができます。まず、児童生徒に「心に残った友達の言葉」を記述するよう指示し、次に、記述内容を互いに伝えてカードを交換する時間を取ります（資料8、9）。授業後は、次の道徳科授業までの間、教室内に掲示し（資料10）、その後「道徳ノート」に貼付します。この手立ては、児童生徒が道徳的価値についての互いの考えのよさを伝え合うことで、自他の学びを振り返ることや友達からの評価により道徳的実践意欲を高めることをねらっています。



資料8 「心の種」の記入例（小学校）



資料9 「心の種」の記入例（中学校）



資料10 「心の種」の掲示例

「心に残った友達の言葉」を書くことには、次のような利点があります。

- ①児童生徒に友達の意見を一生懸命聴こうとする姿が増えます。
- ②教師にとっては、観察や道徳ノートの記述からは捉えることができない児童生徒のよさや学習の様子を把握することができます。



模造紙に透明カードケースを貼ると、授業ごとに入れ替え可能な「心の種」掲示物ができます。



《引用文献》

- (1) (2) (3) 文部科学省 『小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』 平成 29 年 6 月 第 5 章第 2 節 1、第 5 章第 2 節 2、第 5 章第 2 節 2
- 文部科学省 『中学校学習指導要領解説特別の教科道徳編』 平成 29 年 7 月 第 5 章第 2 節 1、第 5 章第 2 節 2、第 5 章第 2 節 2
- (4) 佐賀県教育センター 『平成 27・28 年度「プロジェクト研究」小・中学校道徳教育』 平成 29 年 3 月

[http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu\\_chousa/h28/02\\_doutoku/h27-28\\_proken\\_syoutyu\\_doutoku\\_toppage.htm](http://www.saga-ed.jp/kenkyu/kenkyu_chousa/h28/02_doutoku/h27-28_proken_syoutyu_doutoku_toppage.htm)